

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	26-3																																							
PDCA	主要事業名	市営住宅用途廃止事業	部課名	建設部建築課	担当 内線	藤井 462																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策：市街地 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 10 年度 全体事業費等： 188,080 千円 会計 一般会計 歳出科目 07.06.01.02.56 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 6,700 千円					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																							
	事業概要等	事業概要： 用途廃止する住宅の入居者と移転交渉を円滑に進めることで、市営住宅管理戸数を適正な数まで縮小させる。																																											
		事業目的： 適正な市営住宅の管理戸数となるように、管理戸数を段階的に削減していく。																																											
		事業内容： 老朽化した君ヶ橋住宅1・2棟及び長根西住宅の移転を進め、用途廃止する。																																											
		問題点・ 用途廃止する市営住宅の既存入居者の退去に時間を要し、廃止時期の遅れが懸念される。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	6,696 千円	本市として市営住宅の適正な管理戸数とする必要があるため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 6,696 千円	老朽化した市営住宅を用途廃止することで、適正な管理戸数とすることができる。																																											
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">既存入居者の移転の進捗率</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>40.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	既存入居者の移転の進捗率	実績値	—	—	—	%	目標値	—	—	40.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度		単位																																						
	既存入居者の移転の進捗率	実績値	—	—	—		%																																						
		目標値	—	—	40.0		%																																						
		実績値																																											
		目標値																																											
その他	実績値																																												
	目標値																																												
県費 0 千円																																													
その他 0 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	6,620 千円	用途廃止する住宅の入居者と個別に交渉し、移転を進めた。																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">既存入居者の移転の進捗率</td> <td>実績値</td> <td>43.6</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>40.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				成果指標		令和3年度	単位	既存入居者の移転の進捗率	実績値	43.6	%	目標値	40.0	%																													
	成果指標		令和3年度	単位																																									
	既存入居者の移転の進捗率	実績値	43.6	%																																									
目標値		40.0	%																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 用途廃止する住宅の入居者と交渉し移転を進め、目標値を達成することができた。今後も、既存入居者の個別の事情に沿った交渉を継続して行うことで、君ヶ橋住宅1・2棟及び長根西住宅の移転を進め、用途廃止する。																																											
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 既存入居者との移転交渉を丁寧に実施し、適正な市営住宅の管理戸数となるように用途廃止を進める。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない																																						
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																						
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない																																								